

緑の風



平成30年5月31日発行

第 62 号

広報委員会
発行
岡山ろうさい病院

退職御挨拶



岡山労災病院
副院長、内科部長
きし もと たく み
岸本 卓巳

岡山労災病院内科に就職して27年が過ぎますが、平成30年3月31日付けで無事定年退職をすることができました。呉共済病院から平成3年9月に着任したときには弱冠38歳でしたが、すでに65歳と高齢者になってしまいました。

故郷岡山に戻り、時が過ぎるのがこんなに早いのかと驚いております。赴任当時の田辺剛造院長の意向により総合病院としてはずかしくない内科を創ることと労災病院に相応しい健康診断部を創ることが当時の命題でした。それから、現在までそのために努力をして参りましたが、お約束を果たしたかどうか不安が残ります。しかし、私なりに努力できたことは病院周辺の開業医の先生方や産業保健関係者など多くの方が私を支えてくれたお陰と感謝申し上げます。

私は平成30年4月1日からは病院敷地内に完成した独立行政法人労働者健康安全機構アスベスト疾患研究・研修センター所長に就任し、私のライフワークであるアスベスト関連疾患を含む職業性呼吸器疾患の研究及び研修を担当することになりました。また、臨床医として従来通り岡山労災病院内科の木曜日の外来で職業性呼吸

器疾患患者の診断と治療を担当致しますので、今まで通り患者様のご紹介をお願いできれば幸いです。長い間の皆様のご厚情に感謝申し上げます。



岡山労災病院
しもだ としゆき
下田 豊

平成29年度3月末日をもって定年退職となりました。岡山労災病院には平成20年4月1日に赴任しましたので丁度10年在職いたしました。皆さまには大変お世話になり感謝しております。その間に岡山労災病院は発展してゆき新病院を建設し手術件数も増加しました。麻酔科管理件数も増加し、平成29年度は2400-2500件となりそうぞうで赴任時の2倍強になる見込みです。これもひとえに各科の先生方のご協力・手術室看護師方の尽力・検査室・放射線科の皆さまのご協力・自分以外の麻酔科一同の頑張りによるものと深謝いたします。

岡山労災病院がこれからさらに急性期病院として活躍していくには、さらに手術件数を増加させる必要があります。各部署のマンパワーをさらに充実させて手術室のさらなる円滑な運営を行う、できれば手術室数を増やす必要があるかと愚考しております。

ICUについては自分の在職中に麻酔科マンパワーを充実させて麻酔科で24時間・365日ICU管理を行いたいと考えていましたが夢と終わりました。この夢は村上先生に託します。

退職後は岡山西大寺病院に赴任し、麻酔・術前術後管理とおそらく医療安全に携わることになります。東区の方からますますの岡山労災病院のご発展、皆さまのご健康とご活躍をお祈りしております。10年間ありがとうございました。

病院の理念

地域の人々に最適な医療を提供し、働く人の健康を守ります。

患者の権利について

- 1 良質な医療を平等に受ける権利
- 2 十分に理解できるまで説明を受ける権利
- 3 医療行為を選択あるいは拒否する権利
- 4 診療に関する自己の記録などの情報を得る権利
- 5 個人情報保護される権利
- 6 セカンドオピニオンを求める権利

病院の基本方針

- 一 患者の権利を尊重し、尊厳を守ります。
- 二 地域の中核病院として、一人ひとりに最適な医療を提供します。
- 三 治療と就労の両立支援を推進します。

患者の責務について

- 1 自分の症状について、必要なことを正確に伝えてください。
- 2 診療上の必要な指示は守って下さい。
- 3 医師・看護師をはじめ職員からの指示に従ってください。
- 4 病院内の快適な医療環境の維持にご協力下さい。
- 5 病院敷地内での飲酒、喫煙は禁止します。
- 6 職員に暴力・暴言など行った場合は院外に退去していただくことがあります。
- 7 診療にかかる費用は指定された期日にお支払いください。